

平成29年度事業評価結果報告書
(平成28年度実施事業)

平成29年9月
かつらぎ町行財政対策協議会

目次

1.かつらぎ町行財政対策協議会	1
2.かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿	1
3.事業評価の方法	2
4.事業評価会議の開催日時	2
5.評価の結果	3～13

1. かつらぎ町行財政対策協議会

かつらぎ町行財政対策協議会は、町長の附属機関として町長の諮問に応じ、行財政運営の改善対策に関する基本事項の審議、町の施策・事業等の評価検証を行うために設置されている。

本年度については、本町が実施している事業の中から、必要性・有効性・効率性や住民ニーズの変化に照らして検証が必要と思われる事業を選定し、そのあり方について外部の視点から評価・検証を行った。

2. かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿

かつらぎ町行財政対策協議会は、下記の 10 名で構成されている。

【かつらぎ町行財政対策協議会委員】

任期：平成 30 年 5 月 15 日まで

(委員は、五十音順 敬称略)

役職	氏名	
会長	中前 光雄	自治区長会 会長
委員	井本 嘉宏	かつらぎ町青年団 団長
委員	大江 吉人	和歌山県農業大学校 校長
委員	大家 敏史	日の丸観光バス株式会社 代表取締役
委員	櫻井 聡	かつらぎ町農業担い手交流会 会員
委員	中谷 保	かつらぎ町商工会 会長
委員	中谷 より子	女性会議 理事
委員	西村 公孝	紀北川上農業協同組合かつらぎ支店 支店長
委員	宮本 圭子	女性会議 理事
委員	吉永 道代	紀陽銀行妙寺笠田連合店 総括支店長

3.事業評価の方法

担当課からの説明及び提出された資料にもとづき、事業の個別評価として「必要性」「有効性」「効率性」を各視点から検証し、「大いにある」「概ねある」「あまりない」「ない」の4段階で評価を行い、今後の事業の方向性として「拡充」「現状維持」「一部改善」「縮小」「休止・廃止」の5段階で評価を行った。

事業の最終評価は、『評価判定（今後の方向性）』で、最も多かった評価を本協議会における評価と位置付け、『意見集約過程での主な提案・意見』を踏まえたうえで、『評価に関するコメント』を総括とし、協議会としての意見としている。

- ◎ 対象事業 ：平成 28 年度決算主要施策実施事業
- ◎ 評価事業数：10 事業（内、地方創生加速化交付金事業 4 事業）

< 評価手順 >

- ①担当課から事業の説明（5分）
- ②質疑応答・意見交換、評価シートへの記入（15分）
- ③評価判定及び意見の集約（5分）

4.事業評価会議の開催日時

第1回で、会長の選出と町長からの諮問を行った。

	日 時	事業評価	場 所
第1回	平成 29 年 7 月 3 日(月) 19:00~21:00	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流促進事業（記念事業実施） ・観光交流促進事業（ポスター・パンフレット作成） ・フルーツ王国イノベーション推進事業 	かつらぎ町防災センター1 階会議室
第2回	平成 29 年 7 月 27 日(木) 19:00~21:00	<ul style="list-style-type: none"> ・動脈硬化検査事業 ・キッズイングリッシュ推進事業 ・子どもの居場所づくり事業 ・かつらぎ 100 選ブランディング推進事業 	かつらぎ町役場 2階B会議室
第3回	平成 29 年 8 月 30 日(水) 19:00~20:40	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害ハザードマップ作成事業 ・合併処理浄化槽設置補助事業 ・備蓄食糧購入事業 	かつらぎ町役場 2階B会議室

【その他】

日 時	内 容	場 所
平成 29 年 9 月 19 日(火)	町長への答申	町長室

5.評価の結果

平成 29 年度は、平成 28 年度に実施した主要施策 171 事業のうち、町が選出した 10 事業について、事業評価を実施したところであり、事業の方向性についての評価は、「拡充」3 事業、「現状維持」6 事業、「一部改善」1 事業、「縮小」0 事業、「休止・廃止」0 事業となった。

本協議会の評価は、「現状維持」が最も多い結果となったが、「一部改善」の事業はもちろんのこと、「現状維持」と評価した事業においても、決して今まで通りのやり方で事業の継続を良しとするものではない。

町の財政状況がさらに厳しいものになっていくと予想される中、費用対効果についての検証と併せて、『PDCA サイクル』の強化を図り、事業の充実に努められたい。また、この報告書を第 4 次かつらぎ町長期総合計画の推進に役立てていただくとともに、来年度以降も事業評価を継続して実施していただくことを要望する。

【平成 29 年度かつらぎ町行財政対策協議会 事業評価結果一覧】 (平成 28 年度実施事業)

事業番号	事業名	担当課	委員数	今後の事業の方向性					評価判定
				拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止廃止	
1	観光交流促進事業（イベント実施）	生涯学習課	9	1	2	6	0	0	一部改善
2	観光交流促進事業（ポスター・パンフレット作成）	産業観光課	9	3	6	0	0	0	現状維持
3	フルーツ王国イノベーション推進事業	産業観光課	9	5	0	2	1	1	拡充
4	動脈硬化検査事業	やすらぎ対策課	9	2	7	0	0	0	現状維持
5	キッズイングリッシュ推進事業	教育総務課	9	3	6	0	0	0	現状維持
6	子どもの居場所づくり事業	青少年センター	9	5	3	1	0	0	拡充
7	かつらぎ 100 選ブランディング推進事業	企画公室	9	2	5	0	0	2	現状維持
8	土砂災害ハザードマップ作成事業	建設課	8	4	4	0	0	0	拡充
9	合併処理浄化槽設置補助事業	生活環境課	9	1	8	0	0	0	現状維持
10	備蓄食糧購入事業	総務課	9	1	8	0	0	0	現状維持

※事業番号 8「土砂災害ハザードマップ作成事業」について、得票数で「拡充」と「現状維持」が同数であったため、協議を行い「拡充」とした。

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

1	観光交流促進事業(記念事業実施)	生涯学習課
---	------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	4名	3名	2名	
②有効性	2名	5名	2名	
③効率性		8名	1名	

●評価判定(今後の方向性)

一部改善	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	2名	6名		
評価に関するコメント	<p>町内の方が参加するという事は、地元を知り、誇りを持つという意味からも非常に重要だと考えます。今後世界遺産高野地域協議会や他の団体が行うウォーキングなどのイベントにおいても、多くの地元住民が参加してもらえるよう、町内への周知に力を入れていただきたいと考えます。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<p>○地元の参加者が少なかったという事ですが、地元だから知っている、行かなくても分っているという人が多いのだと思う。ただ地元であっても、身近すぎて知らないことも多いと思います。そういう機会をこれからも是非作っていただきたいと思います。</p> <p>○地元の人を経験してくれることで、地元を見直し、地元意識が高まると思います。地元で誇りを持つことは町の発展にもつながる事だと思います。</p> <p>○ウォーキングイベントなど他の団体で出来ることは、行政でわざわざする必要はないと思います。行政でしか出来ないこと、行政でないと駄目なことを取り入れた事業を行っていただきたいと思います。</p> <p>○子供対象の事業を行うにあたっては、世界遺産についての事前学習も必要だと思います。</p> <p>○かつらぎ町の世界遺産を盛り上げ、町内外にアピールする意味でも必要性は高いと考える。高野地域協議会との関連性など、やり方は一考の余地あり。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

2	観光交流促進事業(ポスター・パンフレット作成)	産業観光課
---	-------------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	2名		
②有効性	5名	4名		
③効率性	3名	6名		

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	3名	6名			
評価に関するコメント	<p>かつらぎ町は最近観光PRに力を入れてくれていますが、広く周知され、さらに来町者が増えるなど、効果を発揮させるためにも、パンフレット等の作成は継続して頂きたいと思います。また、より多くの部数を確保するため、品質やコストなどを含めた内容の検討も必要であると思います。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<p>○豪華なパンフレットは良し悪しで、すぐに無くなってしまいます。ありがたいことではありますが、広く周知するためには部数の確保が第一だと思います。いいものを作って部数が少ないよりは、工夫が必要ですが、コストを下げ部数を増やす方向で検討していただきたいと思います。</p> <p>○パンフレットの種類は沢山あっても、一人の方があれもこれも持っていくので、幅広い周知という面では効率が悪いように思います。そのため種類はもう少し絞ってもいいのではないかと思います。</p> <p>○観光客は増えていますが、各産業と連携し、かつらぎ町にお金を落としてもらえるように考える必要があると思います。また、三谷坂のリピーターが増えるよう、整備やアイデアが必要だと思います。</p> <p>○京奈和の全線開通など、今後も来訪者増が見込まれているタイミングでもありますので、さらに有効性や効率性を高めパンフレット等の拡充を行っていただきたいと思ます。</p> <p>○入込客数が増えている原因が道(京奈和・四郷)等であるかはわかりませんが、間違いなくかつらぎ町への来客がある中で、今回の事業は継続が必要と考えます。</p> <p>○インターネット、SNS、インスタグラム等も有効に活用する必要があります。</p> <p>○国の補助がなくても、必要なものは行って欲しい。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

3	フルーツ王国イノベーション推進事業	産業観光課
---	-------------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	2名		
②有効性	4名	5名		
③効率性	3名	6名		

●評価判定(今後の方向性)

拡充	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	5名		2名	1名	1名
評価に関するコメント	<p>事業としては計画の作成により終了となりますが、今回策定された計画については、農林業・観光にとって重要な計画であり、今後計画に基づいて着実に事業をすすめていただきたいと思います。また、京奈和道や鍋谷トンネルの開通によって、人の流れが大きく変わり、想像していた以上に、多数の方が来町されています。こういったことから計画通りに進めるだけでなく、状況に応じて計画を見直し、変更することも必要だと思います。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<p>○480号などの広域幹線道路開通に伴って、行政・企業・農業・商業等、関係者が一同に話し合う必要があると考えます。</p> <p>○一部の地域では観光農園を盛んにされているが、1歩を踏み出せない農家も多いと思うのでサポートできる仕組みが欲しいと思います。</p> <p>○本事業の目的は計画策定であるので、計画が出来上がったことにより目的は達成され終了となると思う。なお、今後はいかにして計画を進めていくかが課題となる。</p> <p>○「計画」ということで、現時点ではまだ有効性や効率性について評価は難しい(わからない)。しかし、計画を実施していく中で見直し等は必要であり、そのため事業として継続していく必要があると思います。</p> <p>○農業振興のため大事な推進事業であると思う。</p> <p>○計画をつくるだけでなく、計画を推進・実行することが大切だと思います。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

4	動脈硬化検査事業	やすらぎ対策課
---	----------	---------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	8名	1名		
②有効性	8名	1名		
③効率性	7名	2名		

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	7名			
評価に関するコメント	<p>疾病の重症化予防や予知のために、非常に重要な事業であると考えます。現状では受診されていない方もかなりおられますので、受診率が向上し、疾病の予防により医療費の削減にもつながります。そのため、町民への広報活動の徹底や、受診時間の短縮による受診しやすい環境づくりを行うなど、健康寿命日本一を目指すためにも、より充実した取り組みを期待します。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<p>○病気の早期発見はとても大切であり、重要な事業であると思います。そのため、出来るだけ多くの方が受診できるよう周知徹底をお願いしたいと思います。</p> <p>○課題にも挙げられているように、受診時間が掛かってしまう点を検討し、少しでも受診してもらいやすいように改善する必要があると思います。</p> <p>○受診する方とされない方にはっきりと分かれていると思います。、この受診されない方に受診していただく事で健康寿命も延びてくると思います。難しいとは思いますが、そういった方への受診勧奨をお願いしたいと思います。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

5	キッズイングリッシュ推進事業	教育総務課
---	----------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	8名	1名		
②有効性	4名	5名		
③効率性	4名	4名	1名	

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	3名	6名			
評価に関するコメント	<p>教育関係の事業は結果がすぐに出るものではなく、長期的に取り組む必要があります。この事業を行うことで、子育て中の親にとっては頼もしく思え、安心して教育を受けさせられる環境を作ることは、かつらぎ町への定住にもつながると考えます。そのため、今後もこのようなソフト事業の充実が必要であると思います。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<p>○英語を始めとして、科目を好きになるには早期が大切だと思いますので、今後も工夫して継続して頂きたいと思います。</p> <p>○推進員について、ボランティアで考えても良いのでは。</p> <p>○楽しく遊びながら英語に親しみ、英語力を養うのはいいと思います。</p> <p>○成果として見えませんが、小さい時から英語に馴染むことは大切であると思います。そのためにも、キッズイングリッシュ推進員(教師となる人)のレベルが重要になってくると思います。</p> <p>○様々な家庭がありますが、この事業に1回でも保護者を巻き込めるようなものがあればいいと思います。</p> <p>○成果が見えにくい事業ではありますが、いかに成果を出すかを考えて取り組んで頂ければと思います。</p> <p>○この事業はいいと思いますが、小・中・高校と英語を好きになるよう、総合的に取り組む仕組みを作っていただきたい。</p> <p>○この事業を知らない住民も多いと思います。こういう事業をやっているという事を知るだけで安心したり誇りを持つことができますので、是非住民への周知の徹底をお願いします。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

6	子どもの居場所づくり事業	青少年センター
---	--------------	---------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	2名		
②有効性	4名	5名		
③効率性	4名	5名		

●評価判定(今後の方向性)

拡充	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	5名	3名	1名		
評価に関する コメント	<p>両親が働いていたり、事情があって一人で過ごさなければならない子供にとっては有難い事業であると思います。今後、参加児童が増えた場合、指導員の問題もありますが、本当にこの制度を必要とする子供が埋もれてしまわないよう、学校関係者とも十分連絡を取りながら、児童の受け入れを行っていただきたいと思います。</p>				
意見集約課程 での主な 提案・意見	<p>○大事な事業としますので、今後も学校と情報交換を密にお願いします。</p> <p>○事業を継続していただければと思います。今後、各地域の要望に応じて対象区域の増加も検討いただきたい。</p> <p>○今後は受け入れ人数や教師の数など、改善・検討が必要であると思います。</p> <p>○一人の孤立した児童がいると全体に影響を与えることがあります。そうならないよう、学校の先生と連携して、一人の子どもを守ることは全体の子供を守ることに繋がるという意識で取り組んで頂きたいと思います。</p> <p>○距離的な問題が課題であるとのことですが、どの地域でも必要があれば参加できるような状況作りとして、均等な場所での開催実施が望ましいと思いますので、事業の拡充を検討いただきたいと思います。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

7	かつらぎ100選ブランディング推進事業	企画公室
---	---------------------	------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	9名			
②有効性	7名	2名		
③効率性	3名	6名		

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	2名	5名			2名
評価に関するコメント	<p>インフラが整備され交流人口の増加が期待される中で、今回の冊子は効果的に活用できるのではないかと思います。併せて町内の方にも広報していただく事で、地域資源を生かした新たな観光作りができるのではないかと考えます。</p> <p>冊子の作成事業としては終了となりますが、記載内容に変更も出てきますので、定期的に内容を見直し、継続して使えるよう検討いただきたいと思います。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<p>○観光客に説明が出来るよう、まずは地元の住民が地域資源についてしっかりと知ることが大切です。そのためにも今回作成した冊子をうまく活用してほしいと思います。</p> <p>○かつらぎ町のあまり知られていない良い所をもっと町内外にアピールしてほしいと思います。今回作られた100選の冊子は見やすく良いと思います。</p> <p>○このように出来上がった冊子を見させていただくと、かつらぎ町には良い所がいっぱいあることが改めてわかりました。そのため、この冊子を活用した次の展開(PR・仕掛け等)を検討していただきたいと思います。</p> <p>○数年に1度見直しを行い、冊子の内容がさらに発展・進化していければと思います。</p> <p>○農業を主とするかつらぎ町にあって、観光という面では住民がいまだ不慣れであり、まずは住民に対するの周知が必要であると思います。</p> <p>○この中で町内の5つのモデルコースを提案してくれていますが、1枚もの大きくてわかりやすいパンフレットを作成して、新たな観光コースをPRしても効果的ではないかと思えます。</p> <p>○冊子の製作には結構費用が掛かりますので、SNS等は、内容によっては十分効果が見込めると思えますので、活用してはどうかと思います。</p>				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

8	土砂災害ハザードマップ作成事業	建設課
---	-----------------	-----

●個別評価の判定

評価人数 8名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	1名		
②有効性	6名	2名		
③効率性	5名	2名	1名	

●評価判定(今後の方向性)

拡充	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	4名	4名			
評価に関するコメント	<p>想定外の災害が全国各地で発生していることから、必要性の高い事業であると考えます。また、今後はハザードマップを活用して、関係機関との連携により防災対策につなげていただきたいと思います。</p> <p>評価判定については、「拡充」と「現状維持」が同数であったため、議論の結果、未作成の地域のハザードマップ作成を、早期に行っていただきたいとの意見で一致したことから、「拡充」とします。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・県へも調査を早めていただくよう要望をさらに行っていただき、早期にかつらぎ町全域のハザードマップ作成をお願いします。 ・現在、集中豪雨など今までにない災害が発生していることから、想定以上の対策が必要であると思います。 ・本当に危険な地域や家庭には、個別な指導も必要かと思えます。 ・早急に全地区でマップの作成をすることはもちろん、作成した後の住民への周知の徹底を図ることも重要であると考えます。 ・かつらぎ町は山間部が多い地域なので、ハザードマップの作成は必要な事業であり、マップの作成が今後の防災対策に大きく役立つと考えます。 ・森林組合や関係課と連携することで、管理が不十分なことで土砂崩れの危険がある山林の所有者に対し、間伐等を行うよう働きかけていただく事も必要であると思えます。 				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

9	合併処理浄化槽設置補助事業	生活環境課
---	---------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	7名	2名		
②有効性	4名	5名		
③効率性	1名	8名		

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	8名			
評価に関するコメント	<p>合併処理浄化槽は、公共下水道が未整備な地域において、水質汚濁を防ぐ重要な設備であり、対象住民の負担を軽減する本事業の必要性は非常に高いと思います。公共下水道の整備と並行して、本事業の継続をお願いします。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本当にきれいな水にするためには、単独浄化槽を減らしていく必要があります。単独処理浄化槽の設置者に対し、行政として積極的に合併処理浄化槽への交換を勧めるなどの方策を検討いただきたいと思います。 ・補助金はありますが個人負担も結構高額であり、現在設置していない、特に高齢者のみの家庭などでは新たに設置してもらうのは難しいと思います。そういった問題の対策も必要であると考えます。 ・必要な事業ではありますが、都市計画区域の下水道整備が遅れていることがネックだと思います。 				

平成29年度 行財政対策協議会事業評価結果(平成28年度実施事業)

10	備蓄食糧購入事業	総務課
----	----------	-----

●個別評価の判定

評価人数 9名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	9名			
②有効性	7名	2名		
③効率性	7名	2名		

●評価判定(今後の方向性)

現状維持	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
	1名	8名			
評価に関するコメント	<p>想定外の災害が数多く発生していることから、備蓄食料の確保は非常に重要であると考えます。そのためにも、計画的な購入をお願いするとともに、今後、毎年賞味期限切れを迎える備蓄食料の有効的な活用方法を検討いただきたいと思います。</p>				
意見集約課程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限切れを迎える食料は、防災訓練や各自治区への配布、町のイベント時での活用など、有効活用する方法を検討する必要があると思います。 ・賞味期限切れの備蓄食料について、他市町村の先進事例の情報を収集し、買い取りの可能性も含め、最も無駄の少ない方法を検討していただきたいと思います。 ・いつ必要な時が来てもいいように、不足分については早急に準備をお願いします。 ・町において非常用の食料を備蓄していることを、多くの住民に知ってもらうことが重要だと思います。継続的に住民への周知をお願いします。 ・資料によると、備蓄食料の配布場所で山間部が少ないように思います。道路が分断され孤立する可能性がありますので、今後配布場所の見直しも必要と考えます。 				